

## 新入職職員のご紹介



支援員  
三好 円



初めまして。12月1日より入職致しました三好円(つぶら)です。編み物が大好きで最近ではペットボトルカバーを沢山作りました。又、お仕事は安心・安全・安楽をモットーにしています。どうか宜しくお願い致します。

## 新年のご案内

- 1月 6日(月) 初詣
- 1月 7日(火) 利用者調査
- 1月10日(金) 鏡開き(おやつ)
- 1月18日(土) 初釜



■入浴について  
一般浴は、2日から開始  
介助浴とヘルパー浴は2日から開始

■往診医について

田代先生	9日(木)から
たけのこ歯科	9日(木)から
安西先生	10日(金)



■売店について  
5階売店は、10日(金)から  
イオン訪問販売は、8日(水)から

■施設リハビリ  
施設リハビリ(佐野PT)は、12日(日)からです。



## 赤い羽根共同募金のお礼

赤い羽根募金のご協力ありがとうございました。皆様にご協力いただいた赤い羽根共同募金は **24,393円**になりました。

募金は東京都募金会で公正な審査を経て、施設を利用する方々の生活向上のために役立ちます。ありがとうございました。

## 赤い羽根共同募金

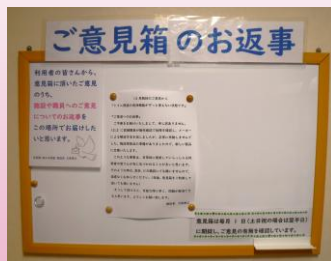


## 相談室からお知らせ

青梅信用金の出金を依頼された方のお渡しは、1月8日(水)16時のお渡しになります。通帳を預けていて、毎週定額をお渡ししている利用者および、毎月最初の水曜日にお渡ししている方は、1月1日(水)16時のお渡しになります。

## 施設からお知らせ

1階事務所前に設置しているご意見箱へのお返事を、意見箱の横のホワイトボードへ掲示しています。頂いたご意見は月初1日頃に施設長が開錠して内容を確認し、必要に応じて職員会議で検討してお返事をさせて頂いています。



社会福祉法人 東京蒼生会  
万寿園・第三万寿園  
広報委員会発行  
Tel 042-391-2578



新年あけましておめでとうございます

皆様におかれましては晴れ晴れしい気持ちで新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は当施設の運営に対しまして、ご理解とご協力を賜り、無事に新年を迎えることができましたこと、心より御礼申し上げます。

世間では、物価高騰や様々な感染症の流行など、多くの物事が揺れ動いている昨今ですが、2025年の干支である巳年は「探求心と情熱」を表すとされ、助けてくれた人々には恩返しを行うとの謂れがあるそうです。

私も皆様への感謝を忘れず、少しずつでも恩返しができるように努めてまいります。

『笑う門には福来る』 いつも笑いが溢れるところには自然に幸運が訪れます。皆様にも笑いと幸運が多い良き一年となることを祈願して、新年のご挨拶とさせていただきます。

養護老人ホーム万寿園  
軽費老人ホーム第三万寿園 施設長 久保 幸江

## 毎年恒例～お年玉抽選会!!

新年号の「すまいる」は、毎年恒例お年玉抽選付!!

→当選発表は、  
1月1日 午後 3:00 から  
各階掲示板で発表!!  
※軽費の方も掲示板での  
当選発表になります!

交換切 1月10日(金)まで

当選された方は、1階事務所まで  
この「すまいる」をお持ち下さい。

お楽しみ抽選会の  
番号はこちら



## 看護係より みなさまへ



明けましておめでとうございます。  
看護係からのお手紙です。  
去年はコロナ禍の影響で中止されていた行事や  
色々なクラブなども再開され、参加された方々が楽しんで頂けたこと、とても嬉しく思います。

去年は例年より早くからインフルエンザの流行が始まりました。  
去年のインフルエンザは熱の症状が出ないが陽性反応が出る、いわゆる“隠れインフルエンザ”  
なるものが確認されております。  
本人も気が付かないまま感染拡大することが懸念されておりますので、倦怠感や鼻水、咳やのどの痛み等の発熱以外のサインを見逃さない様、これらの症状が出たら迷わず職員に報告するよう  
ご協力をお願いします。

巷ではインフルエンザ以外も、おなじみ新型コロナウイルスの他、マイコプラズマ肺炎などの感染症が同時流行している“3種流行”の状態ですので、外出時のマスク使用、うがいと手洗い等の感染予防には引き続きお努め頂くようお願いいたします。

去年は新たに2名の看護師を迎え、今年も皆様の健康を支えていけるよう頑張ります。  
本年もよろしくお願い致します。

## 防火管理者より みなさまへ



あけましておめでとうございます。  
防火管理者よりお知らせです。

避難訓練を近日実施予定です。  
近くなりましたらいつものように掲示板に掲示しますのでご確認ください。

冬は空気が乾燥し、火事の多い季節です。先月も毎日のように火事のニュースがありました。万寿園でも防火対策をより一層の注意を払っていきます。

もし実際に館内で火災が発生した場合には、火災報知器が作動し全館に非常ベルが鳴ります。その後、館内放送にて避難指示がありますのでベランダなど外へ避難してください。

なぜ外に避難するかというと火災により発生する一酸化炭素を吸い込むことにより、酸素欠乏になります。これにより避難が困難になり最悪死に至ることがあります。建物の外に出れば酸素欠乏を防ぐことができます。  
すぐには煙なども回らないと思いますので落ち着いて行動できるように普段から心がけてください。  
本年もよろしくお願い致します。

## 栄養係より みなさまへ



奈良時代に編纂された「風土記」に「豊後の国(現在の大分県)のある村で余った米で大きな餅を作り、それを的にして矢を射たところその餅は白い鳥になって飛んで行ってしまった」という記述があるそうです。

「餅」は縄文時代に稲作の技術と共に東南アジアから伝えられ、節句の度に神への供物でした。当時は今のように米は白い品種ではなく、赤米(あかごめ、又は、あかまい)を使用していました。赤米は粘りが強く炊くとモチモチとしていて「おにぎり」や「餅」のようにまとめやすい特徴から使われていたようです。赤米から突然変異により色素のない米が出来ました。これが現在日本で食べられている白米です。赤米は苦味があったため、徐々に白米が多く作られるようになりました。

「鏡餅」の丸い形にはいくつかの説があるそうです。「魏志倭人伝」にも記される「三種の神器」の一つ「銅鏡」を模したという説。銅鏡は太陽や月の光を反射することから神秘的なものとされていました。また人の魂がこもる心臓の形であり、社会や人間同士の付き合いが円満であることを現しているという説、等。

「つき手」「返し手」の阿吽の呼吸で行う決して一人では出来ない「餅つき」は古来より地域社会の交流、共同体の絆を因る重要な行事だったそうです。万寿園でも年末恒例行事として餅つきを行います。振舞われる甘酒片手に応援するギャラリーに囲まれて、吹き抜けの中庭で力自慢・技自慢のご利用者と職員が餅をつく。その年最後の大会イベントです。



2024年餅つき大会の様子

## 行事のご報告



2024年後半は、ここで紹介する写真以外にも年回忌法要や秋の彼岸法要、柚子湯、紅葉ドライブなど多くの催しが行われました。新年も初詣、初釜、節分、お花見などを予定しています。



敬老の日



紅葉祭り①



紅葉祭り②



富士見小学校来園



明治学院クリスマス会



X'mas イルミネーション